

基本構想の構成（案）



目標年次	都市空間の姿	将来のうつのみや像の実現に向けて【各主体の役割】
<p>2050年</p>	<p>本市のこれまでの成り立ちや、地域の持つ歴史や文化など、それぞれの地域が持つ個性を生かしながら、今後の人口規模・構造の変化に適合した都市の姿である、「ネットワーク型コンパクトシティ」の形成を推進</p>	<p><b>市民</b> :地方自治の主役であるという認識のもと、一人ひとりが互いに助け合い、市政に協力し、公共的活動に積極的に関わりを持つなど、自助・互助・共助の精神に基づいて行動する。</p> <p><b>事業者</b>:本市の一員であるという認識のもと、市民の就業と就業時間外の活動との均衡の保持に努め、自らも公共的活動に協力し、積極的な社会貢献活動を通して地域社会との信頼関係や協力関係を深める。</p> <p><b>団体</b> :地域活動団体は、地域内の市民の意見の集約を図り、地域における公共的課題の解決に努める。非営利活動団体は、自らの公共的活動を行うとともに、他の公共的活動を先導し、及び協力しながらその補完に努める。</p> <p><b>行政</b> :市民の負託を受けた公共の担い手として、多様な主体の意志や活動に基づく自治の実践と自治能力のさらなる向上に努め、市政運営に取り組む。</p>